

○仮設道路設置の検討を進めてきましたが、現地測量の結果、崩壊地付近では約15mの高低差があり、仮道路の設置には、少なくとも8か月以上の相当な期間を要する見込みとなりました。

○このため、仮道路を設けず、崩落個所の復旧に着手することが、最も短期間での交通開放につながることから、国の道路防災ドクター等の見解も仰ぎつつ、復旧方法を確定したうえで工事に着手し、令和8年内の交通開放をめざします。



被災日：令和8年6月3日(水)

事業名	R8年							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
調査・設計	測量・土質調査		設計					
準備工	伐採・進入路		撤去工					
本復旧工事			工事					

